別表 2－11

カリキュラム編成表（授業科目等の概要）

令和5年度 文化・教養専門課程 （日本語学科1年半課程）

科目区分①		科目区分②	年次	学期	科目区分	分類 必修	分類 選択必修	分類 自由選択	授業科目名	授業科目概要	授業時数	単位数	授業方法 講義	授業方法 演習	授業方法 実験・実習・実技
専門	日本語学科1年半課程	日本語の運用基礎能力を習得する	1	後期	専門	○			総合日本語ⅠA	読む、聞く、書く、話すの4技能をバランスよく練習し、初級の基礎力構築を図る。 特に文法の定着を図る。	300	20	○		
		日本語の総合的な運用+F7.F16能力を習得する	2	前期	専門	○			総合日本語ⅡA	読む、聞く、書く、話すの4技能をバランスよく練習し、中級の基礎力構築を図る。	120	8	○		
			2	後期	専門	○			総合日本語ⅡB	読む、聞く、書く、話すの4技能をバランスよく練習し、中級の基礎力構築を図る。	120	8	○		
			2	前期	専門	○			聴解ⅡA	中級聴解能力を習得させ、日本語能力試験、日本留学試験聴解試験での高得点獲得を目指す。	60	4	○		
			2	後期	専門	○			聴解ⅡB	中級聴解能力を習得させ、日本語能力試験、日本留学試験聴解試験での高得点獲得を目指す。	60	4	○		
			2	前期	専門	○			読解ⅡA	中級読解能力を習得させ、日本語能力試験、日本留学試験読解試験での高得点獲得を目指す。	60	4	○		
			2	後期	専門	○			読解ⅡB	中級読解能力を習得させ、日本語能力試験、日本留学試験読解試験での高得点獲得を目指す。	60	4	○		
			2	前期	専門			○	作文ⅡA	中級記述能力を習得させ、日本留学試験小論文試験、大学小論文試験での高得点獲得を目指す。	30	2	○		
			2	後期	専門			○	作文ⅡB	中級記述能力を習得させ、日本留学試験小論文試験、大学小論文試験での高得点獲得を目指す。	30	2	○		
			2	前期	専門			○	会話ⅡA	中級発話能力を習得させ、日常生活は勿論、大学・専門学校入試における面接試験で評価される会話力を 身に付ける	30	2	○		
			2	後期	専門			○	会話ⅡB	中級発話能力を習得させ、日常生活は勿論、大学・専門学校入試における面接試験で評価される会話力を 身に付ける	30	2	○		
		日本語学習サポート	1	後期	専門			○	初級作文ⅠA	総合日本語ⅠAと連動し、身近な話題について書く練習をして、日本語基礎能力を作り上げる	30	2	○		
			1	後期	専門			○	漢字トレーニングⅠA	基礎漢字1000字をマスターする。	30	2	○		
			2	前期	専門			○	能力試験対策ⅡA	能力試験対策に特化した授業	30	2	○		
			2	後期	専門			○	能力試験対策ⅡB	能力試験対策に特化した授業	30	2	○		
			2	前期	専門			○	漢字トレーニングⅡA	中級漢字1500字をマスターする。	30	2	○		
		基礎教養科目の基礎力・応用力を養成する	1	後期	専門			○	日本事情ⅠA	日本社会を生きる上での基礎的教養を身につけると同時に、総合科目の基礎力をつける。	30	2	○		
		生活に適応できる日本語能力を養成する	1	後期	専門			○	生活日本語ⅠA	・日本での生活に必要な最低限の日本語を身につける ・地域に関心を持ち、地域連携活動に参加することで、コミュニケーション基礎力をつける。	60	4	○		
		進学するための情報収集と未来設計を日本語を使って行う	2	前期	専門			○	実践日本語ⅡA	・進学に必要な文書の読解と文書作成のスキルを習得する。 ・地域活動を通して、フィールドワークに必要な総合的なコミュニケーション能力を身につける。	60	4	○		
			2	後期	専門			○	実践日本語ⅡB	進学に必要な文書の読解と文書作成のスキルを習得する。 ・地域活動を通して、フィールドワークに必要な総合的なコミュニケーション能力を身につける。	60	4	○		
						合計				20 科目	1260 単位時間	（ 84 単位）			

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件：１２００時間履修　　必修科目を取得していること	1学年の学期区分	2 期
	1学期の授業期間	15 週

別表 2－12

カリキュラム編成表（授業科目等の概要）

令和5年度　文化・教養専門課程（日本語学科2年課程）

科目区分①		科目区分②	年次	学期	科目区分	分類 必修	分類 選択必修	分類 自由選択	授業科目名	授業科目概要	授業時数	単位数	授業方法 講義	授業方法 演習	授業方法 実験・実習・実技
専門	日本語学科2年課程	日本語の運用基礎能力を習得する	1	前期	専門	○			総合日本語ⅠA	読む、聞く、書く、話すの4技能をバランスよく練習し、初級の基礎力構築を図る。特に文法の定着を図る。	300	20	○		
			1	後期	専門	○			総合日本語ⅠB	読む、聞く、書く、話すの4技能をバランスよく練習し、初級の基礎力構築を図る。特に文法の定着を図る。	300	20	○		
		日本語の総合的な運用能力を習得する	2	前期	専門	○			総合日本語ⅡA	読む、聞く、書く、話すの4技能をバランスよく練習し、中級の基礎力構築を図る。	120	8	○		
			2	後期	専門	○			総合日本語ⅡB	読む、聞く、書く、話すの4技能をバランスよく練習し、中級の基礎力構築を図る。	120	8	○		
			2	前期	専門	○			聴解ⅡA	中級聴解能力を習得させ、日本語能力試験、日本留学試験聴解試験での高得点獲得を目指す。	60	4	○		
			2	後期	専門	○			聴解ⅡB	中級聴解能力を習得させ、日本語能力試験、日本留学試験聴解試験での高得点獲得を目指す。	60	4	○		
			2	前期	専門	○			読解ⅡA	中級読解能力を習得させ、日本語能力試験、日本留学試験読解試験での高得点獲得を目指す。	60	4	○		
			2	後期	専門	○			読解ⅡB	中級読解能力を習得させ、日本語能力試験、日本留学試験読解試験での高得点獲得を目指す。	60	4	○		
			2	前期	専門			○	作文ⅡA	中級記述能力を習得させ、日本留学試験小論文試験、大学小論文試験での高得点獲得を目指す。	30	2	○		
			2	後期	専門			○	作文ⅡB	中級記述能力を習得させ、日本留学試験小論文試験、大学小論文試験での高得点獲得を目指す。	30	2	○		
			2	前期	専門			○	会話ⅡA	中級発話能力を習得させ、日常生活は勿論、大学・専門学校入試における面接試験で評価される会話力を身に付ける	30	2	○		
			2	後期	専門			○	会話ⅡB	中級発話能力を習得させ、日常生活は勿論、大学・専門学校入試における面接試験で評価される会話力を身に付ける	30	2	○		
		日本語学習サポート	1	前期	専門			○	初級作文ⅠA	総合日本語ⅠAと連動し、身近な話題について書く練習をして、日本語基礎能力を作り上げる	30	2	○		
			1	後期	専門			○	初級作文ⅠB	総合日本語ⅠBと連動し、身近な話題について書く練習をして、日本語基礎能力を作り上げる	30	2	○		
			1	前期	専門			○	漢字トレーニングⅠA	基礎漢字600字をマスターする。	30	2	○		
			1	後期	専門			○	漢字トレーニングⅠB	基礎漢字1000字をマスターする。	30	2	○		
			2	前期	専門			○	能力試験対策ⅡA	能力試験対策に特化した授業	30	2	○		
			2	後期	専門			○	能力試験対策ⅡB	能力試験対策に特化した授業	30	2	○		
			2	前期	専門			○	漢字トレーニングⅡA	中級漢字1500字をマスターする。	30	2	○		
		基礎教養科目の基礎力・応用力を養成する	1	前期	専門			○	日本事情ⅠA	日本社会を生きる上での基礎的教養を身につけると同時に、総合科目の基礎力をつける。	30	2	○		
		生活に適応できる日本語能力を養成する	1	前期	専門			○	生活日本語ⅠA	・日本での生活に必要な最低限の日本語を身につける ・地域に関心を持ち、地域連携活動に参加することで、コミュニケーション基礎力をつける。	60	4	○		
			1	後期	専門			○	生活日本語ⅠB	・日本での生活に必要な最低限の日本語を身につける ・地域に関心を持ち、地域連携活動に参加することで、コミュニケーション基礎力をつける。	60	4	○		
		進学するための情報収集と未来設計を日本語を使って行う	2	前期	専門			○	実践日本語ⅡA	・進学に必要な文書の読解と文書作成のスキルを習得する。 ・地域活動を通して、フィールドワークに必要な総合的なコミュニケーション能力を身につける。	60	4	○		
			2	後期	専門			○	実践日本語ⅡB	進学に必要な文書の読解と文書作成のスキルを習得する。 ・地域活動を通して、フィールドワークに必要な総合的なコミュニケーション能力を身につける。	60	4	○		
						合計				24 科目	1680 単位時間		（ 112 単位）		

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件：１６００時間履修　　必修科目を取得していること	１学年の学期区分	２　期
	１学期の授業期間	15　週

akii

日本語 学科　　2年課程　　1　年　1組

科目名	漢字トレーニングＩＡ							学期	前　期
担当教員	河崎悠理	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	自由選択	単位数	2
学習目的	基礎漢字500字をマスター、日本語の理解を促進する。								
授業内容	教科書を使用　練習問題を中心に毎回30程度の漢字を覚える。								
学習目標	基礎漢字500字の読み書きを覚える。								
使用テキスト	PRACTICAL　KANJI　Vol.1								

週数	授業計画	事前・事後の学習	
1	確認テスト33個の漢字マスター	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直しとテスト準備
2	確認テスト33個の漢字マスター	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直しとテスト準備
3	確認テスト33個の漢字マスター	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直しとテスト準備
4	確認テスト33個の漢字マスター	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直しとテスト準備
5	確認テスト33個の漢字マスター	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直しとテスト準備
6	確認テスト33個の漢字マスター	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直しとテスト準備
7	確認テスト33個の漢字マスター	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直しとテスト準備
8	確認テスト33個の漢字マスター	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直しとテスト準備
9	確認テスト33個の漢字マスター	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直しとテスト準備
10	確認テスト33個の漢字マスター	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直しとテスト準備
11	確認テスト33個の漢字マスター	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直しとテスト準備
12	確認テスト33個の漢字マスター	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直しとテスト準備
13	確認テスト33個の漢字マスター	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直しとテスト準備
14	確認テスト33個の漢字マスター	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直しとテスト準備
15	まとめテスト	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直し

	評価項目/割合		評価内容
評価基準	1. 課　題	30 %	課題の提出状況
	2. 授業姿勢	30 %	出席率、授業中の態度
	3. テストその他	40 %	確認テスト、復習テスト
	課題・テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。		
目標検定・課外授業実施予定・その他			

akii

日本語 学科　　2年課程　　1　年　1組

科目名	漢字トレーニングＩＢ							学期	後　期
担当教員	河崎悠理	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	自由選択	単位数	2
学習目的	基礎漢字500字をマスター、日本語の理解を促進する。								
授業内容	教科書使用。練習問題を中心に毎回30程度の漢字を覚える。								
学習目標	基礎漢字500字の読み書きを覚える。								
使用テキスト	PRACTICAL　KANJI　Vol.2								

週数	授業計画	事前・事後の学習	
1	確認テスト33個の漢字マスター	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直しとテスト準備
2	確認テスト33個の漢字マスター	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直しとテスト準備
3	確認テスト33個の漢字マスター	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直しとテスト準備
4	確認テスト33個の漢字マスター	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直しとテスト準備
5	確認テスト33個の漢字マスター	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直しとテスト準備
6	確認テスト33個の漢字マスター	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直しとテスト準備
7	確認テスト33個の漢字マスター	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直しとテスト準備
8	確認テスト33個の漢字マスター	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直しとテスト準備
9	確認テスト33個の漢字マスター	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直しとテスト準備
10	確認テスト33個の漢字マスター	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直しとテスト準備
11	確認テスト33個の漢字マスター	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直しとテスト準備
12	確認テスト33個の漢字マスター	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直しとテスト準備
13	確認テスト33個の漢字マスター	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直しとテスト準備
14	確認テスト33個の漢字マスター	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直しとテスト準備
15	総復習期末テスト	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直し

	評価項目/割合		評価内容
	1. 課　題	30 %	課題の提出状況
	2. 授業姿勢	30 %	出席率、授業中の態度
	3. テストその他	40 %	確認テスト、復習テスト
	課題・テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。		

目標検定・課外授業実施予定・その他	日本語能力試験（7月、12月）

日本語 学科　　2年課程　　1　年　1組

科目名	日本事情ＩＡ							学期	前	期
担当教員	河崎悠理	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	自由選択	単位数	2	
学習目的	日本に対する理解を深め、有意義な留学生活を送るための一助とする。									
授業内容	平均的な日本人像と日本の地理について学習する。									
学習目標	日本での生活に必要な知識や技能を理解し、ルールやマナーを守れるようになる。日本の現代社会に関するいくつかの項目について理解し、答えることができるようにな									
使用テキスト	日本総論Ⅰ									

週数	授業計画	事前・事後の学習	
4	1課 新しい生活　①異文化Uカーブの理解と現状　②自分と関係する場所の住所　③外出時の注意事項	【事前】	・1課を読んでくる。　・語彙調べ
		【事後】	・住所や学校名など漢字で書く練習　・日本での生活How to問題①
5	2課 家の周り　①学校の周辺の物と生活の関わり　②ゴミに関するルールと捨て方　②郵便物と生活の関	【事前】	・２課を読んでくる。　・語彙調べ・ゴミに関するものを持ってくる。
		【事後】	・アパート・学校間にある物でわからない物の写真を撮ってくる。・ゴミ
6	3課 安全管理　①交通ルールと道路標識　②健康保険の役割と通院	【事前】	・3課を読んでくる。　・語彙調べ
		【事後】	・道路標識の写真を撮ってくる。・日本での生活How to問題②
7	4課 家　①日本の家の特徴とその意味　②訪問先でのマナー	【事前】	・4課を読んでくる。　・語彙調べ
		【事後】	・家の特徴に関する問題
8	5課 食事　①様々な日本食　②食べ方におけるマナー	【事前】	・5課を読んでくる。　・語彙調べ
		【事後】	・日本における食事のマナー問題
9	プレゼンテーション「日本のここが（これが）わからない！」①　①日本に来てからの様々な疑問の提示	【事前】	・日本生活における疑問のリストアップ
		【事後】	・プレゼンに使用する原稿、写真、資料の事前送信
10	プレゼンテーション「日本のここが（これが）わからない！」②　①プレゼンテーションのシナリオの検討	【事前】	・プレゼン原稿読み上げ練習
		【事後】	・相互評価表の「感想欄」「今後の検討課題」についてまとめる。
11	6課 アルバイト　①留学生のアルバイトに係る遵守規定　②アルバイトを始めるために必要な書類等　③	【事前】	・６課を読んでくる。　・語彙調べ
		【事後】	・アルバイト注意事項チェックシートの記入・復習Ａ（P26．27）
12	7課 日本の国土　①日本のイメージ　②日本の特徴	【事前】	・７課を読んでくる。　・語彙調べ
		【事後】	・「日本という国」について感想文を書く。
13	8課 ライフサイクル　①日本の行事　②日本人の一生	【事前】	・8課を読んでくる。　・語彙調べ
		【事後】	・「日本と私の国の違い」について作文を書く。
14	9課 文化　①日本の伝統文化　②日本人のレジャー	【事前】	・9課を読んでくる。　・語彙調べ
		【事後】	・「私の国の伝統文化」について作文を書く。
15	10課 制度　①日本国憲法　②日本の行政（三権分立と選挙）	【事前】	・10課を読んでくる。　・語彙調べ
		【事後】	・「私の国の政治・制度」について作文を書く。
16	11課 経済と産業　①日本経済と家計　②日本の産業と現状	【事前】	・11課を読んでくる。　・語彙調べ
		【事後】	・「私の国の産業の特色」について作文を書く。
17	12課 歴史　①日本の歴史　②有名な歴史上の人物とエピソード	【事前】	・12課を読んでくる。　・語彙調べ
		【事後】	・「私の国の歴史」についてエピソードを一つ取り上げ、作文を書く。
18	日本についてのまとめ　①課別のミニテスト　②日本についての感想発表	【事前】	・テスト対策（復習）
		【事後】	・テストの再点検

	評価項目/割合			評価内容
評価基準	1. 課　題	30	%	課題や各種書類の提出状況
	2. 授業姿勢	30	%	出席率、授業中の態度、忘れ物の有無
	3. テストその他	40	%	学内外の各種行事や活動への参加状況
	課題・テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。			
目標検定・課外授業実施予定・その他				

日本語 学科　　2年課程　　1　年　1組

科目名	生活日本語ＩＡ							学期	前　期
担当教員	川上あいか	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	自由選択	単位数	2
学習目的	日本の様々なルールやマナーを理解し、日本の社会や学校生活にうまく適応できるようになる。								
授業内容	日本での生活、学校生活に必須の日本語と情報を提供し、マナー指導を行う。								
学習目標	ルールやマナーを守り、諸活動に参加できる。また私生活やバイト先でも安定した人間関係を維持し、日本の社会に順応する。								
使用テキスト	なし（適宜プリントなど）								

週数	授業計画	事前・事後の学習	
1	生活に必要なルールとマナー1日本語CanDo紹介　自己分析	【事前】	オリエンテーション資料を読んでくる
		【事後】	自己分析（CanDo)を各自する
2	生活に必要なルールとマナー２目標設定（CanDo）	【事前】	オリエンテーション資料を読んでくる
		【事後】	目標を設定する（CanDo）
3	生活に必要なルールとマナー3地域活動紹介１目標確認（CanDo）　学習項目設定	【事前】	オリエンテーション資料を読んでくる
		【事後】	学習項目の設定
4	生活に必要なルールとマナー４地域活動紹介２学習項目チェック	【事前】	オリエンテーション資料を読んでくる
		【事後】	各自設定した日本語学習
5	生活に必要なルールとマナー５地域を知る１日本語ミニテスト	【事前】	オリエンテーション資料を読んでくる
		【事後】	各自設定した日本語学習
6	生活に必要なルールとマナー６地域を知る２日本語ミニテスト	【事前】	オリエンテーション資料を読んでくる
		【事後】	各自設定した日本語学習
7	生活に必要なルールとマナー７地域を知る３日本語ミニテスト	【事前】	オリエンテーション資料を読んでくる
		【事後】	各自設定した日本語学習
8	生活に必要なルールとマナー８地域を知る４日本語ミニテスト	【事前】	オリエンテーション資料を読んでくる
		【事後】	各自設定した日本語学習
9	生活に必要なルールとマナー９地域を知る５日本語ミニテスト	【事前】	オリエンテーション資料を読んでくる
		【事後】	各自設定した日本語学習
10	将来をデザインする１地域で活動する１日本語ミニテスト	【事前】	進路情報をよむ
		【事後】	各自設定した日本語学習
11	将来をデザインする１地域で活動する２日本語ミニテスト	【事前】	進路情報をよむ
		【事後】	各自設定した日本語学習
12	将来をデザインする２地域で活動する３日本語ミニテスト	【事前】	オリエンテーション資料を読んでくる
		【事後】	各自設定した日本語学習
13	進路指導１日本語ミニテスト	【事前】	進路情報をよむ
		【事後】	各自設定した日本語学習
14	進路指導２日本語ミニテスト	【事前】	進路情報をよむ
		【事後】	各自設定した日本語学習
15	進路指導３日本語ミニテスト	【事前】	進路情報をよむ
		【事後】	各自設定した日本語学習

	評価項目/割合	評価内容
評価基準	1. 課　題　30 %	課題や各種書類の提出状況
	2. 授業姿勢　30 %	出席率、授業中の態度、忘れ物の有無
	3. テストその他　40 %	学内外の各種行事や活動への参加状況
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
目標検定・課外授業実施予定・その他		

日本語 学科　　2年課程　　1　年　1組

科目名	生活日本語ＩＡ							学期	前　期
担当教員	川上あいか	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	自由選択	単位数	2
学習目的	日本の様々なルールやマナーを理解し、日本の社会や学校生活にうまく適応できるようになる。								
授業内容	日本での生活、学校生活に必須の日本語と情報を提供し、マナー指導を行う。								
学習目標	ルールやマナーを守り、諸活動に参加できる。また私生活やバイト先でも安定した人間関係を維持し、日本の社会に順応する。								
使用テキスト	なし（適宜プリントなど）								

週数	授業計画	事前・事後の学習	
16	能力試験対策１15週の地域活動振り返り	【事前】	能力試験目標級の語彙を覚える
		【事後】	各自設定した日本語学習
16	能力試験対策２15週の地域活動振り返り	【事前】	能力試験目標級の語彙を覚える
		【事後】	各自設定した日本語学習
16	能力試験対策３15週の地域活動振り返り	【事前】	能力試験目標級の語彙を覚える
		【事後】	各自設定した日本語学習
16	能力試験対策４15週の地域活動まとめ	【事前】	能力試験目標級の語彙を覚える
		【事後】	各自設定した日本語学習
16	能力試験対策５15週の地域活動まとめ	【事前】	能力試験目標級の語彙を覚える
		【事後】	各自設定した日本語学習
17	能力試験対策６15週の地域活動まとめ	【事前】	能力試験目標級の語彙を覚える
		【事後】	各自設定した日本語学習
17	能力試験対策７15週の地域活動準備	【事前】	能力試験目標級の語彙を覚える
		【事後】	各自設定した日本語学習
17	能力試験対策８15週の地域活動準備	【事前】	能力試験目標級の語彙を覚える
		【事後】	各自設定した日本語学習
17	能力試験対策９15週の地域活動準備	【事前】	能力試験目標級の語彙を覚える
		【事後】	各自設定した日本語学習
17	将来をデザインする１地域で活動する１日本語ミニテスト	【事前】	進路情報をよむ
		【事後】	各自設定した日本語学習
18	将来をデザインする２地域で活動する２日本語ミニテスト	【事前】	進路情報をよむ
		【事後】	各自設定した日本語学習
18	将来をデザインする３地域で活動する３日本語ミニテスト	【事前】	進路情報をよむ
		【事後】	各自設定した日本語学習
18	進路指導１日本語ミニテスト	【事前】	進路情報をよむ
		【事後】	各自設定した日本語学習
18	進路指導２日本語ミニテスト	【事前】	進路情報をよむ
		【事後】	各自設定した日本語学習
18	進路指導３日本語ミニテスト	【事前】	進路情報をよむ
		【事後】	各自設定した日本語学習

	評価項目/割合	評価内容
評価基準	1. 課　題　30 %	課題や各種書類の提出状況
	2. 授業姿勢　30 %	出席率、授業中の態度、忘れ物の有無
	3. テストその他　40 %	学内外の各種行事や活動への参加状況
	課題・テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
目標検定・課外授業実施予定・その他		

日本語 学科　　2年課程　　1　年　1組

科目名	生活日本語ＩＢ							学期	後　期
担当教員	川上あいか	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	自由選択	単位数	2
学習目的	日本の様々なルールやマナーを理解し、日本の社会や学校生活にうまく適応できるようになる。								
授業内容	日本での生活、学校生活に必須の日本語と情報を提供し、マナー指導を行う。								
学習目標	ルールやマナーを守り、諸活動に参加できる。また私生活やバイト先でも安定した人間関係を維持し、日本の社会に順応する。								
使用テキスト	なし（適宜プリントなど）								

週数	授業計画	事前・事後の学習	
1	地域貢献活動　1日本語CanDo　目標再設定	【事前】	SDGｓについて復習
		【事後】	目標設定シート作成
2	地域貢献活動　2日本語CanDo　学習内容選定	【事前】	地学一体について復習
		【事後】	学習内容シート完成
3	地域貢献活動3 面接指導1	【事前】	面接シート準備
		【事後】	面接シート作成
4	地域貢献活動4 面接指導2	【事前】	オリエンテーション資料を読んでくる
		【事後】	各自設定した日本語学習
5	地域貢献活動4 面接指導2	【事前】	オリエンテーション資料を読んでくる
		【事後】	各自設定した日本語学習
6	生活に必要なルールとマナー6 地域を知る2 日本語ミニテスト	【事前】	オリエンテーション資料を読んでくる
		【事後】	各自設定した日本語学習
7	生活に必要なルールとマナー7 地域を知る3 日本語ミニテスト	【事前】	オリエンテーション資料を読んでくる
		【事後】	各自設定した日本語学習
8	生活に必要なルールとマナー8 地域を知る4 日本語ミニテスト	【事前】	オリエンテーション資料を読んでくる
		【事後】	各自設定した日本語学習
9	生活に必要なルールとマナー9 地域を知る5 日本語ミニテスト	【事前】	オリエンテーション資料を読んでくる
		【事後】	各自設定した日本語学習
10	将来をデザインする1 地域で活動する1 日本語ミニテスト	【事前】	進路情報をよむ
		【事後】	各自設定した日本語学習
11	将来をデザインする1 地域で活動する2 日本語ミニテスト	【事前】	進路情報をよむ
		【事後】	各自設定した日本語学習
12	将来をデザインする2 地域で活動する3 日本語ミニテスト	【事前】	オリエンテーション資料を読んでくる
		【事後】	各自設定した日本語学習
13	進路指導1 日本語ミニテスト	【事前】	進路情報をよむ
		【事後】	各自設定した日本語学習
14	進路指導2 日本語ミニテスト	【事前】	進路情報をよむ
		【事後】	各自設定した日本語学習
15	進路指導3 日本語ミニテスト	【事前】	進路情報をよむ
		【事後】	各自設定した日本語学習

	評価項目/割合	評価内容
評価基準	1. 課　題　30 %	課題や各種書類の提出状況
	2. 授業姿勢　30 %	出席率、授業中の態度、忘れ物の有無
	3. テストその他　40 %	学内外の各種行事や活動への参加状況
	課題・テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
目標検定・課外授業実施予定・その他		

日本語 学科　　2年課程　　1　年　1組

科目名	生活日本語ＩＢ						学期	後　期
担当教員	川上あいか	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	自由選択	単位数	2
学習目的	日本の様々なルールやマナーを理解し、日本の社会や学校生活にうまく適応できるようになる。							
授業内容	日本での生活、学校生活に必須の日本語と情報を提供し、マナー指導を行う。							
学習目標	ルールやマナーを守り、諸活動に参加できる。また私生活やバイト先でも安定した人間関係を維持し、日本の社会に順応する。							
使用テキスト	なし（適宜プリントなど）							

週数	授業計画	事前・事後の学習	
16	能力試験対策１15週の地域活動振り返り	【事前】	能力試験目標級の語彙を覚える
		【事後】	各自設定した日本語学習
16	能力試験対策２15週の地域活動振り返り	【事前】	能力試験目標級の語彙を覚える
		【事後】	各自設定した日本語学習
16	能力試験対策３15週の地域活動振り返り	【事前】	能力試験目標級の語彙を覚える
		【事後】	各自設定した日本語学習
16	能力試験対策４15週の地域活動まとめ	【事前】	能力試験目標級の語彙を覚える
		【事後】	各自設定した日本語学習
16	能力試験対策５15週の地域活動まとめ	【事前】	能力試験目標級の語彙を覚える
		【事後】	各自設定した日本語学習
17	能力試験対策６15週の地域活動まとめ	【事前】	能力試験目標級の語彙を覚える
		【事後】	各自設定した日本語学習
17	能力試験対策７15週の地域活動準備	【事前】	能力試験目標級の語彙を覚える
		【事後】	各自設定した日本語学習
17	能力試験対策８15週の地域活動準備	【事前】	能力試験目標級の語彙を覚える
		【事後】	各自設定した日本語学習
17	能力試験対策９15週の地域活動準備	【事前】	能力試験目標級の語彙を覚える
		【事後】	各自設定した日本語学習
17	将来をデザインする１地域で活動する１日本語ミニテスト	【事前】	進路情報をよむ
		【事後】	各自設定した日本語学習
18	将来をデザインする２地域で活動する２日本語ミニテスト	【事前】	進路情報をよむ
		【事後】	各自設定した日本語学習
18	将来をデザインする３地域で活動する３日本語ミニテスト	【事前】	進路情報をよむ
		【事後】	各自設定した日本語学習
18	進路指導１日本語ミニテスト	【事前】	進路情報をよむ
		【事後】	各自設定した日本語学習
18	進路指導２日本語ミニテスト	【事前】	進路情報をよむ
		【事後】	各自設定した日本語学習
18	進路指導３日本語ミニテスト	【事前】	進路情報をよむ
		【事後】	各自設定した日本語学習

	評価項目/割合	評価内容
評価基準	1. 課　題　30 %	課題や各種書類の提出状況
	2. 授業姿勢　30 %	出席率、授業中の態度、忘れ物の有無
	3. テストその他　40 %	学内外の各種行事や活動への参加状況
	課題・テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
目標検定・課外授業実施予定・その他		

akri

日本語 学科　　1年半課程　　1　年 A組

科目名	総合日本語ＩＡ							学期	後　期
担当教員	川上あいか 上下友佳里 ク	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	20
学習目的	日本語の基礎力（話す・聞く・読む・書く）をバランスよく身につける。								
授業内容	基本的な文型を学び、身近な話題について話す、聞く、読む、書く練習をする。								
学習目標	基本的な語彙、表現を使ってコミュニケーションができる。簡単な文章を読み内容が理解できる。								
使用テキスト	みんなの日本語初級Ⅰ・Ⅱ、文型練習帳、初級で読めるトピック25、聴解タスク								

週数	授業計画	事前・事後の学習	
1	みんなの日本語初級Ⅰ 第1課～4課	【事前】	各課の言葉、予習
		【事後】	教科書問題、文型練習帳
2	みんなの日本語初級Ⅰ 第5課～7課	【事前】	各課の言葉、予習
		【事後】	教科書問題、文型練習帳
3	みんなの日本語初級Ⅰ 第8課～10課	【事前】	各課の言葉、予習
		【事後】	教科書問題、文型練習帳
4	みんなの日本語初級Ⅰ 第11課～13課	【事前】	各課の言葉、予習
		【事後】	教科書問題、文型練習帳
5	みんなの日本語初級Ⅰ 第14課～16課	【事前】	各課の言葉、予習
		【事後】	教科書問題、文型練習帳
6	みんなの日本語初級Ⅰ 第17課～18課	【事前】	各課の言葉、予習
		【事後】	教科書問題、文型練習帳
7	みんなの日本語初級Ⅰ 第19課～21課	【事前】	各課の言葉、予習
		【事後】	教科書問題、文型練習帳
8	みんなの日本語初級Ⅰ 第22課～23課	【事前】	各課の言葉、予習
		【事後】	教科書問題、文型練習帳
9	みんなの日本語初級Ⅰ 第24課～25課	【事前】	各課の言葉、予習
		【事後】	教科書問題、文型練習帳
10	みんなの日本語初級Ⅱ 第26課～27課	【事前】	各課の言葉、予習
		【事後】	教科書問題、文型練習帳
11	みんなの日本語初級Ⅱ 第28課～29課	【事前】	各課の言葉、予習
		【事後】	教科書問題、文型練習帳
12	みんなの日本語初級Ⅱ 第30課～31課	【事前】	各課の言葉、予習
		【事後】	教科書問題、文型練習帳
13	みんなの日本語初級Ⅱ 第32課～33課	【事前】	各課の言葉、予習
		【事後】	教科書問題、文型練習帳
14	みんなの日本語初級Ⅱ 第34課～35課	【事前】	各課の言葉、予習
		【事後】	教科書問題、文型練習帳
15	みんなの日本語初級Ⅱ 第36課～37課	【事前】	各課の言葉、予習
		【事後】	教科書問題、文型練習帳

	評価項目/割合	評価内容
評価基準	1. 課題　30 %	提出率、完成度
	2. 授業姿勢　30 %	出席率、授業態度（参加度、積極性）
	3. テストその他　40 %	復習テスト
	課題・テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
目標検定・課外授業実施予定・その他	日本語能力試験	

akri

日本語 学科　　1年半課程　　1　年 A組

科 目 名	初級作文ＩＡ							学期	後　期
担当教員	鍛治田芳衣	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	自由選択	単位数	2
学習目的	日本語でまとまりのある文、構成を意識した作文を書くスキルを身につける								
授業内容	モデル文を理解し、これを参考にしながら早い段階から、毎回一つのテーマについて作文を書く。								
学習目標	既習の語彙や文型を正しく使い、構成に注意して、あるテーマについて400字程度の作文が書けるようになること								
使用テキスト	やさしい作文								

週数	授業計画	事前・事後の学習	
16	ユニット1	【事前】	モデル文を読んでくる
		【事後】	テーマ作文を清書
16	ユニット2	【事前】	モデル文を読んでくる
		【事後】	テーマ作文を清書
16	ユニット3	【事前】	モデル文を読んでくる
		【事後】	テーマ作文を清書
16	ユニット4	【事前】	モデル文を読んでくる
		【事後】	テーマ作文を清書
16	ユニット5	【事前】	モデル文を読んでくる
		【事後】	テーマ作文を清書
17	ユニット6	【事前】	モデル文を読んでくる
		【事後】	テーマ作文を清書
17	ユニット7	【事前】	モデル文を読んでくる
		【事後】	テーマ作文を清書
17	ユニット8	【事前】	モデル文を読んでくる
		【事後】	テーマ作文を清書
17	ユニット9	【事前】	モデル文を読んでくる
		【事後】	テーマ作文を清書
17	ユニット10	【事前】	モデル文を読んでくる
		【事後】	テーマ作文を清書
18	ユニット11	【事前】	モデル文を読んでくる
		【事後】	テーマ作文を清書
18	ユニット12	【事前】	モデル文を読んでくる
		【事後】	テーマ作文を清書
18	ユニット13	【事前】	モデル文を読んでくる
		【事後】	テーマ作文を清書
18	ユニット14	【事前】	モデル文を読んでくる
		【事後】	テーマ作文を清書
18	ユニット15	【事前】	モデル文を読んでくる
		【事後】	テーマ作文を清書

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基準	1. 課 題　30 %	提出状況　完成度　ていねいさ
	2. 授業姿勢　30 %	出席率　授業中の態度(参加度　積極性)
	3. テストその他　40 %	発表の結果

akii

日本語 学科　　1年半課程　　1　年 A組

科目名	漢字トレーニングＩＡ							学期	後　期
担当教員	河崎悠理	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	自由選択	単位数	2
学習目的	基礎漢字500字をマスター、日本語の理解を促進する。								
授業内容	教科書を使用　練習問題を中心に毎回30程度の漢字を覚える。								
学習目標	基礎漢字500字の読み書きを覚える。								
使用テキスト	PRACTICAL　KANJI　Vol.1								

週数	授業計画	事前・事後の学習	
1	確認テスト33個の漢字マスター	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直しとテスト準備
2	確認テスト33個の漢字マスター	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直しとテスト準備
3	確認テスト33個の漢字マスター	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直しとテスト準備
4	確認テスト33個の漢字マスター	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直しとテスト準備
5	確認テスト33個の漢字マスター	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直しとテスト準備
6	確認テスト33個の漢字マスター	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直しとテスト準備
7	確認テスト33個の漢字マスター	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直しとテスト準備
8	確認テスト33個の漢字マスター	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直しとテスト準備
9	確認テスト33個の漢字マスター	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直しとテスト準備
10	確認テスト33個の漢字マスター	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直しとテスト準備
11	確認テスト33個の漢字マスター	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直しとテスト準備
12	確認テスト33個の漢字マスター	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直しとテスト準備
13	確認テスト33個の漢字マスター	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直しとテスト準備
14	確認テスト33個の漢字マスター	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直しとテスト準備
15	まとめテスト	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直し

	評価項目/割合	評価内容
評価基準	1. 課　題　30 %	課題の提出状況
	2. 授業姿勢　30 %	出席率、授業中の態度
	3. テストその他　40 %	確認テスト、復習テスト
	課題・テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
目標検定・課外授業実施予定・その他	日本語能力試験（7月、12月）	

日本語 学科　　1年半課程　　1　年 A組

科目名	日本事情ＩＡ							学期	前　期
担当教員	河崎悠理	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	自由選択	単位数	2
学習目的	日本に対する理解を深め、有意義な留学生活を送るための一助とする。								
授業内容	平均的な日本人像と日本の地理について学習する。								
学習目標	日本での生活に必要な知識や技能を理解し、ルールやマナーを守れるようになる。日本の現代社会に関するいくつかの項目について理解し、答えることができるようにな								
使用テキスト	日本総論Ｉ								

週数	授業計画	事前・事後の学習	
1	1課 新しい生活　①異文化Uカーブの理解と現状　②自分と関係する場所の住所　③外出時の注意事項	【事前】	・1課を読んでくる。　・語彙調べ
		【事後】	・住所や学校名など漢字で書く練習　・日本での生活How to問題①
2	2課 家の周り　①学校の周辺の物と生活の関わり　②ゴミに関するルールと捨て方　②郵便物と生活の関	【事前】	・２課を読んでくる。　・語彙調べ・ゴミに関するものを持ってくる。
		【事後】	・アパート・学校間にある物でわからない物の写真を撮ってくる。・ゴミ
3	3課 安全管理　①交通ルールと道路標識　②健康保険の役割と通院	【事前】	・3課を読んでくる。　・語彙調べ
		【事後】	・道路標識の写真を撮ってくる。・日本での生活How to問題②
4	4課 家　①日本の家の特徴とその意味　②訪問先でのマナー	【事前】	・4課を読んでくる。　・語彙調べ
		【事後】	・家の特徴に関する問題
5	5課 食事　①様々な日本食　②食べ方におけるマナー	【事前】	・5課を読んでくる。　・語彙調べ
		【事後】	・日本における食事のマナー問題
6	プレゼンテーション「日本のここが（これが）わからない！」①　①日本に来てからの様々な疑問の提示	【事前】	・日本生活における疑問のリストアップ
		【事後】	・プレゼンに使用する原稿、写真、資料の事前送信
7	プレゼンテーション「日本のここが（これが）わからない！」②　①プレゼンテーションのシナリオの検討	【事前】	・プレゼン原稿読み上げ練習
		【事後】	・相互評価表の「感想欄」「今後の検討課題」についてまとめる。
8	6課 アルバイト　①留学生のアルバイトに係る遵守規定　②アルバイトを始めるために必要な書類等　③関	【事前】	・６課を読んでくる。　・語彙調べ
		【事後】	・アルバイト注意事項チェックシートの記入・復習Ａ（P26．27）
9	7課 日本の国土　①日本のイメージ　②日本の特徴	【事前】	・７課を読んでくる。　・語彙調べ
		【事後】	・「日本という国」について感想文を書く。
10	8課 ライフサイクル　①日本の行事　②日本人の一生	【事前】	・8課を読んでくる。　・語彙調べ
		【事後】	・「日本と私の国の違い」について作文を書く。
11	9課 文化　①日本の伝統文化　②日本人のレジャー	【事前】	・9課を読んでくる。　・語彙調べ
		【事後】	・「私の国の伝統文化」について作文を書く。
12	10課 制度　①日本国憲法　②日本の行政（三権分立と選挙）	【事前】	・10課を読んでくる。　・語彙調べ
		【事後】	・「私の国の政治・制度」について作文を書く。
13	11課 経済と産業　①日本経済と家計　②日本の産業と現状	【事前】	・11課を読んでくる。　・語彙調べ
		【事後】	・「私の国の産業の特色」について作文を書く。
14	12課 歴史　①日本の歴史　②有名な歴史上の人物とエピソード	【事前】	・12課を読んでくる。　・語彙調べ
		【事後】	・「私の国の歴史」についてエピソードを一つ取り上げ、作文を書く。
15	日本についてのまとめ　①課別のミニテスト　②日本についての感想発表	【事前】	・テスト対策（復習）
		【事後】	・テストの再点検

	評価項目/割合			評価内容
評価基準	1. 課　題	30	%	課題や各種書類の提出状況
	2. 授業姿勢	30	%	出席率、授業中の態度、忘れ物の有無
	3. テストその他	40	%	学内外の各種行事や活動への参加状況
	課題・テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。			

目標検定・課外授業実施予定・その他	

日本語 学科　　1年半課程　　1　年 A組

科 目 名	生活日本語ＩＡ							学期	後　期
担当教員	川上あいか	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	自由選択	単位数	2
学習目的	日本の社会や学校生活に適応できる。地域貢献のための土台作りができる。CanDoを基準においた日本語力向上へのロードマップを描ける。								
授業内容	日本社会・学校生活適応に必要な知識、規律教育。地域を知る活動。CanDoによる自己分析と目標設定。								
学習目標	日本文化の理解、規律を遵守することへの理解。地域について文化と歴史を知る。CanDoによる目標の明確化。								
使用テキスト	なし（適宜プリントなど）								

週数	授業計画	事前・事後の学習	
1	生活に必要なルールとマナー1 日本語CanDo紹介 自己分析	【事前】	オリエンテーション資料を読んでくる
		【事後】	自己分析（CanDo)を各自する
2	生活に必要なルールとマナー２ 目標設定（CanDo）	【事前】	オリエンテーション資料を読んでくる
		【事後】	目標を設定する（CanDo）
3	生活に必要なルールとマナー3 地域活動紹介１ 目標確認（CanDo) 学習項目設定	【事前】	オリエンテーション資料を読んでくる
		【事後】	学習項目の設定
4	生活に必要なルールとマナー４ 地域活動紹介２ 学習項目チェック	【事前】	オリエンテーション資料を読んでくる
		【事後】	各自設定した日本語学習
5	生活に必要なルールとマナー５ 地域を知る１ 日本語ミニテスト	【事前】	オリエンテーション資料を読んでくる
		【事後】	各自設定した日本語学習
6	生活に必要なルールとマナー６ 地域を知る２ 日本語ミニテスト	【事前】	オリエンテーション資料を読んでくる
		【事後】	各自設定した日本語学習
7	生活に必要なルールとマナー７ 地域を知る３ 日本語ミニテスト	【事前】	オリエンテーション資料を読んでくる
		【事後】	各自設定した日本語学習
8	生活に必要なルールとマナー８ 地域を知る４ 日本語ミニテスト	【事前】	オリエンテーション資料を読んでくる
		【事後】	各自設定した日本語学習
9	生活に必要なルールとマナー９ 地域を知る５ 日本語ミニテスト	【事前】	オリエンテーション資料を読んでくる
		【事後】	各自設定した日本語学習
10	将来をデザインする１ 地域で活動する１ 日本語ミニテスト	【事前】	プレゼン材料を集める
		【事後】	各自設定した日本語学習
11	将来をデザインする２ 地域で活動する２ 日本語ミニテスト	【事前】	プレゼン材料を集める
		【事後】	各自設定した日本語学習
12	将来をデザインする３ 地域で活動する３ 日本語ミニテスト	【事前】	プレゼン資料を集める
		【事後】	各自設定した日本語学習
13	将来をデザインする４ 日本語ミニテスト	【事前】	プレゼン材料を集める
		【事後】	各自設定した日本語学習
14	CanDo到達度チェック 日本語ミニテスト	【事前】	CanDo表を記入する
		【事後】	各自設定した日本語学習
15	CanDoの見直し 日本語ミニテスト	【事前】	CanDo表を記入する
		【事後】	各自設定した日本語学習

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基準	1. 課 題　30 %	課題や各種書類の提出状況
	2. 授業姿勢　30 %	出席率、授業中の態度、忘れ物の有無
	3. テストその他　40 %	学内外の各種行事や活動への参加状況
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
目標検定・課外授業実施予定・その他		

日本語 学科　　1年半課程　　1　年 A組

科目名	生活日本語ＩＡ							学期	後　期
担当教員	川上あいか	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	自由選択	単位数	2
学習目的	N4の日本語力に到達すること								
授業内容	漢字・語彙・文法・読解　各分野においてN4レベルの練習　　生活日本語の習得で日本語学習の習慣化を図る								
学習目標	各項目においてN4レベルに達成する								
使用テキスト	なし（適宜プリントなど）								

週数	授業計画	事前・事後の学習	
16	N4漢字・語彙	【事前】	単語予習
		【事後】	書類、ファイル提出
16	N4文法・読解	【事前】	単語予習
		【事後】	書類、ファイル提出
16	生活日本語練習	【事前】	単語予習
		【事後】	書類、ファイル提出
16	N4漢字・語彙	【事前】	単語予習
		【事後】	書類、ファイル提出
16	生活日本語練習	【事前】	単語予習
		【事後】	書類、ファイル提出
17	N4漢字・語彙	【事前】	単語予習
		【事後】	書類、ファイル提出
17	N4文法・読解	【事前】	単語予習
		【事後】	書類、ファイル提出
17	生活日本語練習	【事前】	単語予習
		【事後】	書類、ファイル提出
17	N4漢字・語彙	【事前】	単語予習
		【事後】	書類、ファイル提出
17	生活日本語練習	【事前】	単語予習
		【事後】	書類、ファイル提出
18	N4漢字・語彙	【事前】	単語予習
		【事後】	書類、ファイル提出
18	N4文法・読解	【事前】	単語予習
		【事後】	書類、ファイル提出
18	生活日本語練習	【事前】	単語予習
		【事後】	書類、ファイル提出
18	N4漢字・語彙	【事前】	単語予習
		【事後】	書類、ファイル提出
18	生活日本語練習	【事前】	単語予習
		【事後】	書類、ファイル提出

	評価項目/割合	評価内容	単語予習
評価基準	1. 課　題　30 %	課題や各種書類の提出状況	
	2. 授業姿勢　30 %	出席率、授業中の態度、忘れ物の有無	
	3. テストその他　40 %	学内外の各種行事や活動への参加状況	
	課題・テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。		
目標検定・課外授業実施予定・その他			

日本語 学科　　2年課程　　2　年　1組

科目名	漢字トレーニングⅡA							学期	前　期
担当教員	久世　麻利子	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	自由選択	単位数	2
学習目的	基礎漢字1000字をマスター、日本語の理解を促進する。								
授業内容	プリント使用。練習問題を中心に毎回80の漢字を覚える。								
学習目標	基礎漢字1000字の読み書きを覚える。								
使用テキスト	なし								

週数	授業計画	事前・事後の学習	
1	確認テスト80個の漢字マスター	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直しとテスト準備
2	確認テスト80個の漢字マスター	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直しとテスト準備
3	確認テスト80個の漢字マスター	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直しとテスト準備
4	確認テスト80個の漢字マスター	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直しとテスト準備
5	確認テスト80個の漢字マスター	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直しとテスト準備
6	確認テスト80個の漢字マスター	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直しとテスト準備
7	確認テスト80個の漢字マスター	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直しとテスト準備
8	確認テスト80個の漢字マスター	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直しとテスト準備
9	確認テスト80個の漢字マスター	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直しとテスト準備
10	確認テスト80個の漢字マスター	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直しとテスト準備
11	確認テスト80個の漢字マスター	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直しとテスト準備
12	確認テスト80個の漢字マスター	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直しとテスト準備
13	確認テスト80個の漢字マスター	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直しとテスト準備
14	確認テスト80個の漢字マスター	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直しとテスト準備
15	総復習期末テスト	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直し

	評価項目/割合	評価内容
評価基準	1. 課　題　30 %	課題や各種書類の提出状況
	2. 授業姿勢　30 %	出席率、授業中の態度、忘れ物の有無
	3. テストその他　40 %	学内外の各種行事や活動への参加状況
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
目標検定・課外授業実施予定・その他		

日本語 学科　　2年課程　　2　年 1組

科目名	実践日本語ⅡA							学期	前	期
担当教員	折田　真一	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	自由選択	単位数	2	
授業目的	N２レベル突破、学校認定の学校への進学実現、地域貢献活動の目標達成、									
授業内容	N２レベル突破のための日本語学習、進学指導、地域貢献活動									
授業目標	N２レベル以上合格、学校認定の学校への進学、地域貢献活動の目標にむけた活動実現									
使用テキスト	特に定めない。適宜、自作資料を活用									

週数	授業計画	事前・事後の学習	
1	基礎日本語力テスト 進学のアウトライン	【事前】	テスト事前学習
		【事後】	自分なりの進学の意義をまとめる
2	基礎日本語力テスト 自己分析	【事前】	テスト事前学習
		【事後】	自己分析シートを書いてくる
3	SDGｓと地学一体の理解 地域貢献活動のロードマップ CanDoの目標設定について	【事前】	SDGｓ事前調べ
		【事後】	自己分析シートを完成させる
4	地域貢献活動１ Cando　評価表チェック	【事前】	目標設定シート記入
		【事後】	評価表完成
5	地域貢献活動２ CanDo　目標設定	【事前】	評価表完成
		【事後】	目標シート記入
6	地域貢献活動３ 日本語基礎力テスト	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直し
7	地域貢献活動４ 日本語基礎力テスト	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直し
8	地域貢献活動５ 日本語基礎力テスト	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直し
9	地域貢献活動６ 日本語基礎力テスト	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直し
10	地域貢献活動７ 日本語基礎力テスト	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直し
11	地域貢献活動８ 日本語基礎力テスト	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直し
12	地域貢献活動９ 日本語基礎力テスト	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直し
13	地域貢献活動１０ 日本語基礎力テスト	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直し
14	地域貢献活動１１ 日本語基礎力テスト	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直し
15	地域貢献活動１２ 日本語基礎力テスト CanDo評価チェック	【事前】	テスト準備
		【事後】	チェック表の完成

	評価項目/割合	評価内容
評価基準	１．課　題　30%	提出率、ていねい度、完成度
	２．授業姿勢　30%	出席率、授業中の態度（積極性。参加度）、忘れ物の有無
	３．テストその他　40%	受験、進学に係る資料の提出
	課題･テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
目標検定・課外授業実施予定・その他		

日本語 学科　　2年課程　　2　年　1組

科目名	実践日本語ⅡB							学期	後	期
担当教員	折田　真一	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	自由選択	単位数	2	
授業目的	N２レベル突破、学校認定の学校への進学実現、地域貢献活動の目標達成、									
授業内容	N２レベル突破のための日本語学習、進学指導、地域貢献活動									
授業目標	N２以上合格、学校認定の学校への進学、地域貢献活動の目標にむけた活動実現									
使用テキスト	特に定めない。適宜、自作資料を活用									

週数	授業計画	事前・事後の学習	
1	基礎日本語力テスト 進学のアウトライン	【事前】	テスト事前学習
		【事後】	自分なりの進学の意義をまとめる
2	基礎日本語力テスト 自己分析	【事前】	テスト事前学習
		【事後】	自己分析シートを書いてくる
3	SDGｓと地学一体の理解 地域貢献活動のロードマップ CanDoの目標設定について	【事前】	SDGｓ事前調べ
		【事後】	自己分析シートを完成させる
4	地域貢献活動１ Cando　評価表チェック	【事前】	目標設定シート記入
		【事後】	評価表完成
5	地域貢献活動２ CanDo　目標設定	【事前】	評価表完成
		【事後】	目標シート記入
6	地域貢献活動３ 日本語基礎力テスト	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直し
7	地域貢献活動４ 日本語基礎力テスト	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直し
8	地域貢献活動５ 日本語基礎力テスト	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直し
9	地域貢献活動６ 日本語基礎力テスト	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直し
10	地域貢献活動７ 日本語基礎力テスト	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直し
11	地域貢献活動８ 日本語基礎力テスト	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直し
12	地域貢献活動９ 日本語基礎力テスト	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直し
13	地域貢献活動１０ 日本語基礎力テスト	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直し
14	地域貢献活動１１ 日本語基礎力テスト	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直し
15	地域貢献活動１２ 日本語基礎力テスト CanDo評価チェック	【事前】	テスト準備
		【事後】	チェック表の完成

	評価項目/割合	評価内容
評価基準	１．課　題　30％	提出率、ていねい度、完成度
	２．授業姿勢　30％	出席率、授業中の態度（積極性。参加度）、忘れ物の有無
	３．テストその他　40％	受験、進学に係る資料の提出
	課題･テスト（その他検定など）はそれぞれ20％以上とし、授業姿勢は30％とする。	
目標検定・課外授業実施予定・その他		

日本語 学科　　2年課程　　2　年 1組

科目名	実践日本語ⅡA							学期	前	期
担当教員	折田　真一	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	自由選択	単位数	2	
授業目的	卒業成果発表会の基礎情報の獲得									
授業内容	三ケ・戸破地区のフィールドワーク									
授業目標	活動項目の達成									
使用テキスト	なし									

週数	授業計画	事前・事後の学習	
16	卒業成果発表会のロードマップ確認	【事前】	ロードマップ準備
		【事後】	各自の担当を考える
16	地域フィールドワーク計画の共有	【事前】	準備を進める
		【事後】	準備を進める
16	地域フィールドワーク実施	【事前】	準備を進める
		【事後】	準備を進める
16	地域フィールドワーク実施	【事前】	準備を進める
		【事後】	準備を進める
16	地域フィールドワーク実施	【事前】	準備を進める
		【事後】	準備を進める
17	地域フィールドワーク実施	【事前】	準備を進める
		【事後】	準備を進める
17	地域フィールドワーク実施	【事前】	準備を進める
		【事後】	準備を進める
17	地域フィールドワーク実施	【事前】	準備を進める
		【事後】	準備を進める
17	地域フィールドワーク実施	【事前】	準備を進める
		【事後】	準備を進める
17	地域フィールドワーク実施	【事前】	準備を進める
		【事後】	準備を進める
18	地域フィールドワーク実施	【事前】	準備を進める
		【事後】	準備を進める
18	地域フィールドワーク実施	【事前】	準備を進める
		【事後】	準備を進める
18	地域フィールドワーク実施	【事前】	準備を進める
		【事後】	準備を進める
18	地域フィールドワーク実施	【事前】	準備を進める
		【事後】	準備を進める
18	活動の総括	【事前】	準備を進める
		【事後】	総括プリント

	評価項目/割合	評価内容
評価基準	1．課　題　30%	提出率、ていねい度、完成度
	2．授業姿勢　30%	出席率、授業中の態度（積極性。参加度）、忘れ物の有無
	3．テストその他　40%	受験、進学に係る資料の提出
	課題･テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	

目標検定・課外授業実施予定・その他	

日本語 学科　　2年課程　　2　年　1組

科目名	実践日本語ⅡB							学期	後	期
担当教員	折田　真一	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	自由選択	単位数	2	
授業目的	卒業成果発表会の成功									
授業内容	卒業成果発表会の練習、再考、									
授業目標	発表会に向けた課題の克服									
使用テキスト	なし									

週数	授業計画	事前・事後の学習	
16	卒業成果発表会のロードマップ確認	【事前】	ロードマップ準備
		【事後】	各自の担当を考える
16	卒業成果発表会の準備・練習	【事前】	準備を進める
		【事後】	準備を進める
16	卒業成果発表会の準備・練習	【事前】	準備を進める
		【事後】	準備を進める
16	卒業成果発表会の準備・練習	【事前】	準備を進める
		【事後】	準備を進める
16	卒業成果発表会の準備・練習	【事前】	準備を進める
		【事後】	準備を進める
17	卒業成果発表会の準備・練習	【事前】	準備を進める
		【事後】	準備を進める
17	卒業成果発表会の準備・練習	【事前】	準備を進める
		【事後】	準備を進める
17	卒業成果発表会の準備・練習	【事前】	準備を進める
		【事後】	準備を進める
17	卒業成果発表会の準備・練習	【事前】	準備を進める
		【事後】	準備を進める
17	卒業成果発表会の準備・練習	【事前】	準備を進める
		【事後】	準備を進める
18	卒業成果発表会の準備・練習	【事前】	準備を進める
		【事後】	準備を進める
18	卒業成果発表会の準備・練習	【事前】	準備を進める
		【事後】	準備を進める
18	卒業成果発表会の準備・練習	【事前】	準備を進める
		【事後】	準備を進める
18	卒業成果発表会の準備・練習	【事前】	準備を進める
		【事後】	準備を進める
18	卒業成果発表会	【事前】	準備を進める
		【事後】	総括プリント

	評価項目/割合	評価内容
評価基準	1．課　題　30%	提出率、ていねい度、完成度
	2．授業姿勢　30%	出席率、授業中の態度（積極性。参加度）、忘れ物の有無
	3．テストその他　40%	受験、進学に係る資料の提出
	課題･テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
目標検定・課外授業実施予定・その他		

日本語 学科　　1年半課程　　2　年　A組

科目名	漢字トレーニングⅡA							学期	前　期
担当教員	久世　麻利子	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	自由選択	単位数	2
学習目的	基礎漢字1000字をマスター、日本語の理解を促進する。								
授業内容	プリント使用。練習問題を中心に毎回80の漢字を覚える。								
学習目標	基礎漢字1000字の読み書きを覚える。								
使用テキスト	なし								

週数	授業計画	事前・事後の学習	
1	確認テスト80個の漢字マスター	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直しとテスト準備
2	確認テスト80個の漢字マスター	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直しとテスト準備
3	確認テスト80個の漢字マスター	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直しとテスト準備
4	確認テスト80個の漢字マスター	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直しとテスト準備
5	確認テスト80個の漢字マスター	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直しとテスト準備
6	確認テスト80個の漢字マスター	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直しとテスト準備
7	確認テスト80個の漢字マスター	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直しとテスト準備
8	確認テスト80個の漢字マスター	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直しとテスト準備
9	確認テスト80個の漢字マスター	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直しとテスト準備
10	確認テスト80個の漢字マスター	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直しとテスト準備
11	確認テスト80個の漢字マスター	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直しとテスト準備
12	確認テスト80個の漢字マスター	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直しとテスト準備
13	確認テスト80個の漢字マスター	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直しとテスト準備
14	確認テスト80個の漢字マスター	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直しとテスト準備
15	総復習期末テスト	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直し

	評価項目/割合	評価内容
評価基準	1. 課　題　30 %	課題や各種書類の提出状況
	2. 授業姿勢　30 %	出席率、授業中の態度、忘れ物の有無
	3. テストその他　40 %	学内外の各種行事や活動への参加状況
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	

目標検定・課外授業実施予定・その他	

日本語 学科　　1年半課程　　2　年　A組

科目名	実践日本語ⅡA							学期	前　期
担当教員	折田　真一	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	自由選択	単位数	2
授業目的	受験、進学の準備								
授業内容	進学のための情報提供を行い、実際の資料や要項を読み取って、願書を書く。また、面接試験に備え、問答集を書いてチェック、練習を行う。								
授業目標	それぞれが志望する学校に進学する。								
使用テキスト	特に定めない。適宜、自作資料を活用したり、大学や専門学校のパンフレットや募集要項などを使用する。								

週数	授業計画	事前・事後の学習	
1	基礎日本語力テスト 進学のアウトライン	【事前】	テスト事前学習
		【事後】	自分なりの進学の意義をまとめる
2	基礎日本語力テスト 自己分析	【事前】	テスト事前学習
		【事後】	自己分析シートを書いてくる
3	SDGｓと地学一体の理解 地域貢献活動のロードマップ CanDoの目標設定について	【事前】	SDGｓ事前調べ
		【事後】	自己分析シートを完成させる
4	地域貢献活動１ Cando　評価表チェック	【事前】	目標設定シート記入
		【事後】	評価表完成
5	地域貢献活動２ CanDo　目標設定	【事前】	評価表完成
		【事後】	目標シート記入
6	地域貢献活動３ 日本語基礎力テスト	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直し
7	地域貢献活動４ 日本語基礎力テスト	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直し
8	地域貢献活動５ 日本語基礎力テスト	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直し
9	地域貢献活動６ 日本語基礎力テスト	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直し
10	地域貢献活動７ 日本語基礎力テスト	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直し
11	地域貢献活動８ 日本語基礎力テスト	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直し
12	地域貢献活動９ 日本語基礎力テスト	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直し
13	地域貢献活動１０ 日本語基礎力テスト	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直し
14	地域貢献活動１１ 日本語基礎力テスト	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直し
15	地域貢献活動１２ 日本語基礎力テスト CanDo評価チェック	【事前】	テスト準備
		【事後】	チェック表の完成

	評価項目/割合	評価内容
評価基準	1. 課　題　30 %	提出率、ていねい度、完成度
	2. 授業姿勢　30 %	出席率、授業中の態度（積極性。参加度）、忘れ物の有無
	3. テストその他　40 %	受験、進学に係る資料の提出
	課題・テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
目標検定・課外授業実施予定・その他		

日本語 学科　　1年半課程　　2　年　A組

科目名	実践日本語ⅡA							学期	前　期
担当教員	折田　真一	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	自由選択	単位数	2
授業目的	受験、進学の準備								
授業内容	進学のための情報提供を行い、資料やホームページを読む。地域活動として三ケ・戸破地域の調査活動を進める。								
授業目標	それぞれが志望する学校に進学する。進学後、日本語での自己表現をスムーズにできるようにしておく。								
使用テキスト	進学準備には各大学や専門学校のパンフレットや募集要項。								

週数	授業計画	事前・事後の学習	
16	オープンキャンパスについて	【事前】	
		【事後】	各校開催日調べる・申込する
16	オープンキャンパスについて	【事前】	
		【事後】	オープンキャンパスで聞いておきたいことリストをうめる
16	地域活動の意義について 地域調査活動・進路個人面談	【事前】	
		【事後】	地域調査のメモを残す・わからない言葉を調べる
16	地域調査活動・進路個人面談	【事前】	
		【事後】	地域調査のメモを残す・わからない言葉を調べる
16	地域調査活動・進路個人面談	【事前】	
		【事後】	地域調査のメモを残す・わからない言葉を調べる
17	地域調査活動・進路個人面談	【事前】	
		【事後】	地域調査のメモを残す・わからない言葉を調べる
17	地域調査活動・進路個人面談	【事前】	
		【事後】	地域調査のメモを残す・わからない言葉を調べる
17	地域調査活動・進路個人面談	【事前】	
		【事後】	地域調査のメモを残す・わからない言葉を調べる
17	地域調査活動・進路個人面談	【事前】	
		【事後】	地域調査のメモを残す・わからない言葉を調べる
17	地域調査活動・進路個人面談	【事前】	
		【事後】	地域調査のメモを残す・わからない言葉を調べる
18	紹介したい場所を選定する	【事前】	
		【事後】	地域調査のメモを残す・わからない言葉を調べる
18	紹介スピーチ原稿を作文する	【事前】	
		【事後】	作文
18	クラス発表	【事前】	練習
		【事後】	
18	クラス発表	【事前】	練習
		【事後】	
18	クラス発表の振り返り	【事前】	
		【事後】	一番面白そうだった一箇所を訪問

	評価項目/割合	評価内容
評価基準	1. 課　題　30 %	提出率、ていねい度、完成度
	2. 授業姿勢　30 %	出席率、授業中の態度(積極性。参加度)、忘れ物の有無
	3. テストその他　40 %	受験、進学に係る資料の提出
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	

目標検定・課外授業実施予定・その他	

日本語 学科　　1年半課程　　2　年　A組

科目名	実践日本語ⅡB							学期	後　期
担当教員	折田　真一	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	自由選択	単位数	2
学習目的	受験、進学の準備								
授業内容	進学のための情報提供を行い、実際の資料や要項を読み取って願書を書く。また、面接試験に備え、問答集を書いてチェック、練習を行う。								
学習目標	それぞれが志望する学校に進学する。								
使用テキスト	特に定めない。適宜、自作資料を活用したり、大学や専門学校のパンフレットや募集要項などを使用する。								

週数	授業計画	事前・事後の学習	
1	基礎日本語力テスト 進学のアウトライン	【事前】	テスト事前学習
		【事後】	自分なりの進学の意義をまとめる
2	基礎日本語力テスト 自己分析	【事前】	テスト事前学習
		【事後】	自己分析シートを書いてくる
3	SDGｓと地学一体の理解 地域貢献活動のロードマップ CanDoの目標設定について	【事前】	SDGｓ事前調べ
		【事後】	自己分析シートを完成させる
4	地域貢献活動１ Cando　評価表チェック	【事前】	目標設定シート記入
		【事後】	評価表完成
5	地域貢献活動２ CanDo　目標設定	【事前】	評価表完成
		【事後】	目標シート記入
6	地域貢献活動３ 日本語基礎力テスト	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直し
7	地域貢献活動４ 日本語基礎力テスト	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直し
8	地域貢献活動５ 日本語基礎力テスト	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直し
9	地域貢献活動６ 日本語基礎力テスト	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直し
10	地域貢献活動７ 日本語基礎力テスト	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直し
11	地域貢献活動８ 日本語基礎力テスト	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直し
12	地域貢献活動９ 日本語基礎力テスト	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直し
13	地域貢献活動１０ 日本語基礎力テスト	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直し
14	地域貢献活動１１ 日本語基礎力テスト	【事前】	テスト準備
		【事後】	テスト見直し
15	地域貢献活動１２ 日本語基礎力テスト CanDo評価チェック	【事前】	テスト準備
		【事後】	チェック表の完成

	評価項目/割合	評価内容
評価基準	１．課　題　30 %	提出率、ていねい度、完成度
	２．授業姿勢　30 %	出席率、授業中の態度（積極性。参加度）、忘れ物の有無
	３．テストその他　40 %	受験、進学に係る資料の提出
	課題・テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
目標検定・課外授業実施予定・その他		

日本語 学科　　1年半課程　　2　年　A組

科目名	実践日本語ⅡB							学期	後　期
担当教員	折田　真一	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	自由選択	単位数	2
学習目的	受験、進学の準備								
授業内容	進学のための面接試験に備え、問答集を書いてチェック、練習を行う。進路決定者は手続きを進める。卒業成果発表会の準備・練習を行う。								
学習目標	それぞれが志望する学校に進学する。学習成果を発表会で表現する。								
使用テキスト	進学準備には各大学や専門学校のパンフレットや募集要項。								

週数	授業計画	事前・事後の学習	
16	進路決定後、各進学先への手続きを進める。適宜、個人面談。	【事前】	
		【事後】	手続き資料を読んでくる
16	進路決定後、各進学先への手続きを進める。適宜、個人面談。	【事前】	
		【事後】	手続き資料を読んでくる
16	地域活動の意義について 地域調査活動・進路個人面談	【事前】	
		【事後】	地域調査のメモを残す・わからない言葉を調べる
16	地域調査活動・進路個人面談	【事前】	
		【事後】	地域調査のメモを残す・わからない言葉を調べる
16	地域調査活動・進路個人面談	【事前】	
		【事後】	地域調査のメモを残す・わからない言葉を調べる
17	地域調査活動・進路個人面談	【事前】	
		【事後】	地域調査のメモを残す・わからない言葉を調べる
17	地域調査活動・進路個人面談	【事前】	
		【事後】	地域調査のメモを残す・わからない言葉を調べる
17	グループで発表テーマ・方針決め	【事前】	
		【事後】	資料・データの分析
17	各グループで資料やデータを精査する	【事前】	
		【事後】	資料・データの分析
17	各グループで資料やデータを精査する	【事前】	
		【事後】	資料・データの分析
18	各グループで資料やデータを精査する	【事前】	
		【事後】	資料・データの分析
18	発表原稿作成	【事前】	
		【事後】	原稿作成
18	発表原稿作成	【事前】	
		【事後】	原稿作成
18	発表資料（PPTなど）作成	【事前】	
		【事後】	資料作成
18	発表資料（PPTなど）作成	【事前】	
		【事後】	資料作成

	評価項目/割合	評価内容
評価基準	1. 課　題　30 %	提出率、ていねい度、完成度
	2. 授業姿勢　30 %	出席率、授業中の態度（積極性。参加度）、忘れ物の有無
	3. テストその他　40 %	受験、進学に係る資料の提出
	課題・テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	

目標検定・課外授業実施予定・その他	